

千筋の糸を華麗に投げかける蜘蛛の精、

名人・梅若玄祥の妙技でご堪能ください。



2013
12/13 PM3:00 金開演
名古屋能楽堂

プレトーク・解説

狂言「**隠狸**」野村万作・野村萬斎

能「**土蜘蛛**」梅若玄祥

S席：¥9,000

A席：¥6,000

学生席：¥2,500

(全席指定 税込)

狂言

隠狸
かくしだぬき

野村 万作
野村 萬斎



能

土蜘蛛
つちぐも

蜘蛛

葛城山に年経りし、
我を知らずや其の昔、
土蜘蛛の精魂なり。

梅若 玄祥

チケット発売所 中京テレビ事業チケットセンター 052-320-9933 チケットぴあ 0570-02-9999 PCコード 431-703 イープラス eplus.jp 名古屋能楽堂、愛知芸術文化センター、栄プレチケ92、名鉄ホールチケットセンター、名古屋市文化振興事業団チケットガイド、中日サービスセンター、ローソンチケット、セブン-イレブン店頭、他有名プレイガイド 9月14日(土)10:00~ 一般発売開始

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様をお願い致します。

※番組・出演者は変更になる場合があります。ご了承ください。
※未就学児のご入場は、保護者同伴の場合でもお断りしています。

公演に関するお問合せ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333 〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

【主催】 中京テレビ放送
【共催】 エムアンドエム
【後援】 名古屋伝統文化を守る会

中京テレビ事業 検索 http://cte.jp

能

狂言

プレトーク

解説

隠狸

かくしだぬき

主 太郎冠者

野村 萬齋
野村 玄祥

土蜘蛛

つちぐも

梅若 玄祥
梅若 猶義
松山 隆之
川口 晃平
高安 勝久
杉江 元
相元 正樹
野村 又三郎
野村 信朗
竹市 学
後藤嘉津幸
河村真之介
加藤 洋輝

僧(前シテ) 梅若 玄祥
土蜘蛛の精(後シテ) 梅若 猶義
源頼光(ツレ) 松山 隆之
胡蝶(ツレ) 川口 晃平
頼光の太刀持(トモ) 高安 勝久
独武者(ワキ) 杉江 元
従者(ワキツレ) 相元 正樹
従者(ワキツレ) 野村 又三郎
独武者の下人(オモアイ) 野村 信朗
独武者の下人(アドアイ) 竹市 学
笛 後藤嘉津幸
小鼓 河村真之介
大鼓 加藤 洋輝
太鼓

演目紹介

太郎冠者が狸を捕るのが上手であるという事を噂で聞いた主人は、その事を太郎冠者に尋ねるが、太郎冠者は「狸などどつたことはない」と言い張る。なんとかしつぽを捕まえた主人は、狸を買いに行かせ、市場で太郎冠者を待ち受ける。太郎冠者は市場で狸を売ろうとしている所で主人に会ってあわてふためくが、酒を勧められると・・・。

(狸を見つからないようにごまかす太郎冠者と、なんとか泥を吐かせたい主人の巧妙な駆け引き。和泉流独自の楽しい演目です。)

演目紹介

病に伏せる源頼光。侍女の胡蝶が薬を届けて励ますが、思いは沈むばかり。やがて夜更けに、頼光のもとに怪しげな僧が現れ蜘蛛の糸を投げかけるが、頼光に切られて逃げ去る。頼光の部下が血痕を見つけ、怪物の後を追って葛城山にたどり着く。すると岩陰の塚から土蜘蛛の精が現れて蜘蛛の糸を投げてさんざん苦しめるが、格闘の末、退治される。



梅若玄祥 うめわか げんしょう

1948年 気品あふれる流麗な芸風を持つ芸術院会員五十五世梅若六郎の嫡男として生まれる。祖父は人間性の深みをドラマチックに演じた名人二代梅若実。曾祖父は、明治維新以後衰退していた能の復興に尽くした明治三名人の一人、初代梅若実である。2008年12月 梅若家中興の祖である玄祥の名を後世に残すため、345年ぶりに名跡復活、二代玄祥と改名する。

- 1951年 能「鞍馬天狗」子方に初舞台
- 1979年 梅若六郎家 当主継承。財団法人梅若会理事長、梅若能楽学院長に就任
- 1986年 重要無形文化財総合指定(能楽)
- 1988年 五拾六世 梅若六郎を襲名
- 1999年 讀賣演劇大賞
主演男部門優秀賞受賞/日本芸術院賞受賞
- 2005年 社団法人日本能楽会理事に就任
- 2006年 紫綬褒章受章
- 2007年 日本芸術院会員を拝命
- 2008年 二代梅若玄祥と舞台名を改名する
- 2012年 舞台生活60周年をむかえる。



野村万作 のむら まんさく

1931年 東京都出身。
重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。
軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。
狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、長谷川伸賞等、多数の受賞歴を持つ。
02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。06年朝日賞受賞。12年旭日小綬章受章。
『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』『敦・山月記・名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。11年、練馬文化センター名誉館長に就任。



野村萬齋 のむら まんさい

1966年 東京都出身。
祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。
重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。
「狂言ござる乃座」主宰。
国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦・山月記・名人伝』『国盗人』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。
各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。
94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。
芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等、受賞多数。12年には芸術祭優秀賞受賞。
2002年より世田谷パブリックシアター芸術監督。

「名古屋伝統文化を守る会」
賛助会員募集中!

年会費

- ◆ 賛助会員(法人) : 1口 30,000円
- ◆ 賛助会員(個人) : 1口 10,000円
- ◆ 賛助会員(学生) : 1口 3,000円

会員特典

- ① 「名古屋華舞台」への御招待(1名様)
- ② 「名古屋華舞台」演者との親睦会へのご案内 他